

『邦訳 日葡辞書』の形容詞

村田 菜穂子*¹ 前川 武*²**Adjectives of The Japanese-Portuguese Dictionary,
the translation of VOCABULARIO DA LINGOA DE IA
PAM corn a declaracao em Portugues**Nahoko Murata *¹ Takeshi Maekawa *²

キーワード

日葡辞書、中世後期、形容詞、対照語彙表、語彙史

I はじめに

語彙研究および語彙史研究の立場から、これまで上代から中世（前期）に亘る日本語形容詞・形容動詞語彙について、〔1〕語構造論および造語論の両観点から分析を行って、一つ一つの語の語構成を記述するとともに、〔2〕当該語彙の史的研究のための基礎資料としてさまざまな語彙表をこれまで作成・公表してきた。また、一方では、語彙研究および語彙史研究分野の進展のための有益な資料となるべく、〔1〕および〔2〕の情報を蓄積したデータベースシステムを構築し、本資料を基にコンピュータによる量的データの分析的研究・実証的研究を行い、最終的には、「形容詞の語構成史」および「形容動詞の語構成史」を構築して、従来の研究方法では得られなかった知見を得ることを目指しこれまで研究を進めてきた。^(注1)

そして現在、中世後期から近世にかけての言語資料についても、順次調査を進めているところではあるが、この期の文献は、御伽草子や今様・連歌、能・狂言、抄物、キリシタン資料などそのジャンルが多岐に亘っており、これらの資料から当該語彙を採取し、その全貌を明らかにするには膨大な作業量であることから、ひとまず、中世後期の形容詞を概観する資料として、『時代別国語大辞典 室町時代編』を取り上げ、同辞典に採録された形容詞の一覧を作成した。^(注2)

これに引き続き、本稿は、この期に用いられた形容詞を概観する資料として、『邦訳日葡辞書』（〔1980・5〕岩波書店）を取り上げる。周知のごとく、本辞書は、1603年、日本イエズス会によって刊行された『日葡辞書』を日本語に翻訳したものであり、口語を主

*1 むらた なほこ：大阪国際大学国際コミュニケーション学部教授（2012.6.8受理）

*2 まえかわ たけし：大阪国際大学短期大学部教授

体として編集されていることが知られている。また、当時の日本語の発音、そして、(ポルトガル語によってであるが、詳しく説明された) 語義を知り得る資料として国語史上これまでにも注目されてきたものである。

さて、語彙表の作成においては、『邦訳 日葡辞書』を底本とした。そして、『邦訳 日葡辞書索引』(森田武編、岩波書店、1989刊)および『邦訳日葡辞書逆引索引』(山田潔編、笠間書院、1998刊)を適宜参照し、本辞書に採録された形容詞がこれまでに公表した資料ですでに使用されているか否かを対照できる語彙表の形で示している。

なお、『邦訳 日葡辞書』では、同一語幹の形容詞が「一い」という形式、あるいは、「一き」「一う」などの形式で見出し語として立項されているものがあるが、まずは底本における立項の状況を保持すべく、本語彙表でもそれぞれの語形を独立した見出し語とした。また、終止形「一い」の見出し語がなく、連用形「一う」の見出し語しかないものについては、終止形「一い」に()を付して仮の見出し語として立項した。このほか、『邦訳 日葡辞書』から採集された各見出し語が、これまでに公表した資料においてすでに存在するか否かの判定に際して、「一い」の形式をはじめ、「一き」「一う」の形式の見出し語を旧活用の終止形「一し」という形式を想定して照合を行った。

II 凡例

語彙表において示した項目の内容は以下のとおりである。

- [1] 「ローマ字見出し」: 『邦訳 日葡辞書』に挙がっているローマ字で表記された形容詞の見出し語
ただし、1つの見出し語で「A, または, B」と記載されている場合は、A, Bの両方を独立した項目とした。
例) 「おさながましい, または, わらべらしい」 → 両方を採用
その場合でも、どちらかが明らかに形容詞ではないと考えられる場合は、形容詞のみを項目とした。
例) 「あらたな, または, あたらしい」 → 「あたらしい」のみ採用
「ねごい, または, ねごいひと」 → 「ねごい」のみ採用
- [2] 「ひらがな」: ローマ字表記の見出し語の読みとして訳者によって付された読み(底本ではカタカナだが、ひらがなに改めた)
- [3] 「漢字」: 訳者によって付された、形容詞の主な意味を表す漢字(底本の漢字を踏襲)
- [4] 「備考1」: 『邦訳 日葡辞書』の凡例に挙げられている、A補遺所収の見出し語、B本編所収語に対する補訂として、重ねて補遺に収めたもの、C新たに訳者の立てた見出し語に該当する場合は、それぞれABCとしてそれがわかるようにした。
- [5] 「備考2」: これまでに公表した資料で、その見出し語が使用されている場合には「○」印を付けた。また、その見出し語とは同一の音形態ではないが、以下の①～④に示すように、これまでに公表した資料に存在すると考えられる場合にはその

形容詞を記入した。

①子音交替形または母音交替形

例：いむせし⇔いぶせし (m ⇔ b)

かまびそし⇔かまびすし (o ⇔ u)

②撥音の表記に関わるもの

例：やごとなし⇔やむごとなし

やんごとなし⇔やむごとなし

③促音を挿入したもの

例：につくし⇔にくし

④その他

例：ゆひかひなし⇔いひかひなし

【付記】

本稿は、日本学術振興会平成22-24年科学研究費補助金（基盤研究（C）、課題番号22520479）による研究成果の一部である。

注1 これまでに作成・公表した語彙表を、対象とした作品および作品群（【 】で囲んだもの、以下同じ）毎に示す。なお、各作品群に含まれる作品は次のとおりである。

【上代資料】

『時代別国語大辞典上代編』に立項されている形容詞のうち、東歌・防人歌に使われている東国語方言の語や複合形容詞中にのみその存在が確認される語を除き、万葉集・古事記（仮名書き部分）・日本書紀（同）・風土記（同）・続日本紀宣命・祝詞に用例のあるものを上代形容詞として認めた。

【中古散文作品】

『竹取物語』『土佐日記』『伊勢物語』『平中物語』『大和物語』『多武峯少将物語』『篁物語』『宇津保物語』『蜻蛉日記』『落窪物語』『和泉式部日記』『枕草子』『源氏物語』『紫式部日記』『堤中納言物語』『夜の寝覚』『浜松中納言物語』『更級日記』『狭衣物語』『大鏡』『讃岐典侍日記』『とりかへばや物語』

【八代集】

『古今集』『後撰集』『拾遺集』『後拾遺集』『金葉集』『詞花集』『千載集』『新古今集』

【訓点資料】

『興福寺本大慈恩寺三蔵法師伝古点』『神田本白氏文集卷第三・四』『高山寺本古往来』

【今昔物語集】

『今昔物語集』

【軍記物語】

『保元物語』『平治物語』『平家物語』

以下は、作品または作品群毎の語彙表

【中古散文作品】

「中古散文作品における形容動詞対照語彙表」『大阪国際女子大学紀要』26-2 [2001・3]

【上代資料】【八代集】【中古散文作品】

「古代語形容詞の語構成」『大阪国際女子大学紀要』27-1 [2001・9]

「古代語形容詞逆引き対照語彙表」『大阪国際大学紀要国際研究論叢』16-1 [2002・10]

【訓点資料】

「訓点資料の形容詞の語構成」『大阪国際大学紀要国際研究論叢』17-1 [2003・10]

【上代資料】【八代集】【中古散文作品】【訓点資料】

『形容詞・形容動詞の語彙論的研究』[2005・11 和泉書院]

【今昔物語集】

「今昔物語集の形容動詞対照語彙表」『大阪国際大学紀要国際研究論叢』18-2 [2005・1]

「今昔物語集の形容詞対照語彙表—天竺・震旦部—」『大阪国際大学紀要国際研究論叢』22-3 [2009・3]

「今昔物語集の形容詞対照語彙表—本朝仏法部—」『大阪国際大学紀要国際研究論叢』23-1 [2009・10]

「今昔物語集の形容詞対照語彙表—本朝世俗部—」『大阪国際大学紀要国際研究論叢』23-2 [2010・1]

【軍記物語】

「軍記物語の形容動詞対照語彙表」『帝塚山学院大学日本文学研究』38 [2007・2]

「軍記物語の形容詞対照語彙表」『大阪国際大学紀要国際研究論叢』21-3 [2008・3]

【上代資料】【八代集】【中古散文作品】【訓点資料】【今昔物語集】【軍記物語】

「改訂・増補 古代語形容詞の語構成—上代～中世編—」『帝塚山学院大学日本文学研究』41 [2010・2]

「改訂・増補 古代語形容詞逆引き対照語彙表—上代～中世編—（前編）」大阪国際大学紀要国際研究論叢』24-3 [2011・3]

「改訂・増補 古代語形容詞逆引き対照語彙表—上代～中世編—（後編）」大阪国際大学紀要国際研究論叢』25-1 [2011・10]

『『形容詞対照語彙表』補遺』『大阪国際大学紀要国際研究論叢』23-2 [2010・1]

注2 これまでの研究成果を、対象とした作品群毎に示す。

【上代資料】

「上代形容詞の語構成」『国語語彙史の研究』20 [2001・3 和泉書院]

【八代集】

「八代集の形容詞—語構成論的考察—」『帝塚山学院大学日本文学研究』32 [2001・2]

「八代集の形容詞—語彙の計量的分析—」『甲南国文』48 [2001・3]

【中古散文作品】

「ゲナリ型形容動詞—造語力拡大の様相について—」『国語語彙史の研究』18 [1999・

3 和泉書院]

「平安時代の形容動詞—〜ゲナリと〜カナリ—」『国語学』52-1 [2001・3]

「中古散文の形容詞—語彙の数量的分析—」『表現研究』74 [2001・10]

「古代語形容詞の造語形式—中古散文の形容詞を中心に—」『帝塚山学院大学日本文学研究』33 [2002・2]

「中古散文22作品の類似度の測定」『大阪国際大学紀要国際研究論叢』21-1 [2007・10]

「中古散文22作品の分類についての一試み」『大阪国際大学紀要国際研究論叢』23-3 [2010・3]

【八代集】【中古散文作品】

「中古形容詞における特有語の性格」『帝塚山学院大学日本文学研究』36 [2005・2]

【上代資料】【八代集】【中古散文作品】

「語構造から見た古代語形容詞—二つの系列—」『帝塚山学院大学日本文学研究』34 [2003・2]

「古代語形容詞の語構造分析についての一考察」『国語語彙史の研究』22 [2003・3 和泉書院]

「古代語形容詞の階層構造」『大阪国際大学紀要国際研究論叢』16-2 [2003・3]

「上代形容詞の継承性と中古新出の形容詞」『滋賀大國文』41 [2003・7]

「形容詞・形容動詞語彙の量的構成—中古散文作品を中心に—」『日本語学』25-5 [2006・4]

「形容詞の生産性に関する一考察」『表現研究』86 [2007・10]

「ク活用形容詞とシク活用形容詞の量的性格と語構成」『国語語彙史の研究』28 [2011・3 和泉書院]

【上代資料】【八代集】【中古散文作品】【訓点資料】

「訓点資料の形容詞—語彙の量的性格—」『帝塚山学院大学日本文学研究』35 [2004・2]

「中古形容詞の量的性格—既存の形容詞と新出の形容詞—」『滋賀大國文』42 [2004・7]

『形容詞・形容動詞の語彙論的研究』 [2005・11 和泉書院]

【今昔物語集】

「今昔物語集の形容動詞—語種からの分析を中心に—」『国語語彙史の研究』24 [2005・3 和泉書院]

「今昔物語集の形容動詞—〜ゲナリと〜カナリ（一）—」『滋賀大國文』43 [2005・7]

「今昔物語集のカナリ型形容動詞」『帝塚山学院大学日本文学研究』37 [2006・2]

【軍記物語】

「軍記物語の形容動詞の一考察」『国語語彙史の研究』26 [2007・3 和泉書院]

「軍記物語の形容詞についての一考察」『国語語彙史の研究』28 [2009・3 和泉書院]

注3 「『時代別国語大辞典 室町時代編』の形容詞」『大阪国際大学紀要国際研究論叢』25-2 [2012・1]

国際研究論叢

ローマ字見出し	ひらがな	漢字	備考1	備考2
Aisōraxij	あいそうらしい	愛崇		
Airaxij	あいらしい	愛		
Ayenai	あえない			○
Ayenō	あえのう			○
Auoi	あおい	青		○
Acai	あかい	赤		○
Acai	あかい	明		○
Acabucai	あかぶかい	垢深		
Acō	あこう	明		○
Asai	あさい	浅		○
Asai	あさい	浅	AB	○
Asaguroi	あさぐろい	浅黒		
Asasusamajii	あさすさまじい	朝冷		
Asamaxij	あさましい	浅		○
Axij	あしい	悪		○
Agiqinai	あじきない			○
(Axitatōi)	(あしたとい)	朝疾		
Axitatō	あしたとう	朝疾		
Axibayai	あしばやい	足早		
Adacai	あだかい			
Ataraxij	あたらしい	新		○
Atçui	あつゐ	熱		○
Atçui	あつゐ	厚		○
Atçû	あつう	熱		○
Atçû	あつう	厚		○
Ateatexij	あてあてしい	当当		
Adonai	あどない			
Ana asamaxij	あなあさましい	浅		
Anacamaxij	あなかましい	器		
Abunai	あぶない	危		○
Afōraxij	あほうらしい	阿房		
Amai	あまい	甘		○
Amaxiguei	あましげい	雨繁		
Amazui	あまずい	甘酸		
Amanei	あまねい	遍		○
Amanequ	あまねく	遍		○
Ayauy	あやうい	危		○
Ayaxij	あやしい	怪		○
Ayaxû	あやしゅう	怪		○
Ayanaqu	あやなく	無益		○
Ayanaxi	あやなし	無益		○
Arai	あらい	粗		○
Arai	あらい	荒		○
Aragenai	あらけない	荒		○
Ariarixij	ありありしい	在在		○
Ariarixû	ありありしゅう	在在		○
Arigatai	ありがたい	有難		○
Arigataya	ありがたや	有難		○
Auai	あわい	淡		
Autataxij	あわたたしい	慌		○
Icai	いかい			○
Icamaxij	いかめしい	厳		○
Iqigaimo nai	いきがいもない	生甲斐		
Iqidauaxij	いきだわしい	息		

ローマ字見出し	ひらがな	漢字	備考1	備考2
Iqidōxij	いきどうしい	息		
(Iguinai)	(いぎない)			
Iguinō	いぎのう	異議		
Icufisaxij	いくひさしい	幾久	A	
(Icufodonai)	(いくほどない)	幾程		○
Icufodonō	いくほどのう	幾程		○
Icufodomonō	いくほどのもう	幾程		○
Icō	いこう		C	○
Isaguiyoi	いさぎよい	潔		○
Izatoi	いざとい	寝聡		○
Izatō	いざとう	寝聡		○
Isamaxij	いさましい	勇		○
Ixij	いしい			○
Isogaxij	いそがしい	忙		○
Isogauaxij	いそがわしい	忙		○
Itai	いたい	痛		○
Itaitaxij	いたいたしい	痛々		
Itazzugauaxij	いたずがわしい	疲		○
Itamaxij	いたましい	痛	A	○
Itauaxij	いたわしい	痛		○
Ichixirui	いちしるゐ	著	A	○
Ichixirû	いちしるう	著	A	○
Itçucuxij	いつくしい	美		○
(Itçuto nai)	(いつとない)	何時		
Itçuto nô	いつとのう	何時		
Itoxij	いとおしい			○
itoqenai	いとけない	幼		○
(Itodoxij)	(いとどしい)		A	○
Itodoxiqu	いとどしく			○
Ibucaxij	いぶかしい	訝		○
Ibuxō	いぶしょう			○
Ibuxei	いぶせい			○
Imaimaxij	いまいましい	忌々		○
IMAmecasxij	いまめかしい	今	A	○
Imauaxi	いまわしい	忌		○
Imijij	いみじい			○
Iyaxij	いやしい	卑・賤		○
Iyatatacai	いやたかい	弥高	A	○
Iya mezzuraxij	いやめずらしい	弥珍		
irairaxij	いらいらしい	苛々		
Irafidoi	いらひどい			
Ironai	いろない	色		○
(Ironicui)	(いろにくい)			
Ironicû	いろにくう	色		
V-i	うい	憂		○
Vivixij	ういいういしい	初々		○
V	うう	憂		○
Vcavcaxij	うかうかしい			
Vxirogurai	うしろぐらい	後暗	A	
Vxirometai	うしろめたい	後		○
Vxirometanai	うしろめたない	後		○
Vsui	うすい	薄		○
Vsuguroi	うすぐろい	薄黒	A	
Vzzutacai	うずたかい	堆		○

『邦訳 日葡辞書』の形容詞

ローマ字見出し	ひらがな	漢字	備考1	備考2
Vsoamai	うそあまい	甘		
Vtaguaxij	うたがわしい	疑		○
Vtatei	うたてい			○
Vtatexij	うたてしい			○
Vtçucuxij	うつくしい			○
Vtoi	うとしい	疎		○
VtoVtoxij	うとうとしい	疎々		○
Vtomaxij	うとましい	疎		○
Vmai	うまい			○
Vmavmaxij	うまうましい			
Vmadaqei	うまだけい	馬猛		
Vvavyaxij	うやうやしい	恭		○
Vyamauxij	うやまわしい	敬	A	
Vyamauxû	うやまわしゅう	敬	A	
(Vranai)	(うらない)			○
Vranaqu	うらなく		C	○
Vramaxij	うらましい		A	
Vramexij	うらめしい	恨		○
Vramexû	うらめしゅう	恨	A	○
Vrayamaxij	うらやましい	羨		○
Vravacai	うらわかい	若		○
Vrusai	うるさい			○
Vruuaxij	うるわしい	麗		○
Vrexij	うれしい	嬉		○
Yeguy	えぐい			
Yesarigatai	えさりがたい	去難	A	
Yezui	えずい			
Vouoi	おおい	多		○
Vôqij	おおきい	大	A	
Voxeraxij	おおせらしい	仰	A	
Voxeraxû	おおせらしゅう	仰		
Vocaxij	おかし			○
Vocudanomoxij	おくだのもし	奥頼		
Vocufucai	おくふかい	奥深		○
Vocufucai	おくふかい	奥深	C	○
Vocubucai	おくぶかい	奥深		○
Voconoqenai	おこのけない		A	
Vosaousaxij	おさおさしい	長々	A	○
Vosanai	おさない	幼		○
Vosanagamaxij	おさながましい	幼		
Vosanaxij	おさなしい	幼	A	○
Vosanaxij	おさなしい			○
Vosanaxû	おさなしゅう	幼	A	○
Vosanô	おさのう	幼		○
Voxij	おいしい	惜		○
Vosoi	おそい	遅		○
Vozi	おぞい			○
Vosoregamaxii	おそれがましい	恐・畏	A	
Vosoroxij	おそろしい	恐		○
Vodaxij	おだしい	穩		○
Votocoraxij	おとこらしい	男	A	
Votocorasixû	おとこらしゅう	男	A	
Votonaguenai	おとなげない	大人		○
Votonaxij	おとなしい	大人		○

ローマ字見出し	ひらがな	漢字	備考1	備考2
Vonagoraxij	おなごらしい	女		
Vonagoraxû	おなごらしゅう	女		
Vonaji	おなじ	同		○
Vonajij	おなじい	同		○
Vonajicu	おなじく	同		○
Vonajû	おなじゅう	同		○
Vobitataxij	おびただし	夥		○
Voboxij	おぼしい	覚	A	○
Voboxiqi	おぼしき	覚	A	○
Vobotçucanai	おぼつかない	覚束		○
Vomoi	おもい	重		○
Vomoigaqemo nai	おもいがけもない	思掛		
Vomoigaqemo nõ	おもいがけものう	思掛		
Vomovomoxij	おもおもし	重々		○
Vomovomoxû	おもおもしゅう		A	○
Vomoxiroi	おもしろい	面白		○
Vomoxiroi	おもしろい	面白	A	○
(Vomoxirovocaxij)	(おもしろおかしい)			
Vomoxirovocaxû	おもしろおかしゅう	面白		
Vomotai	おもたい	重		○
Vomofayui	おもはゆい	面映		○
Vorinai	おりない		C	
Caij	かいい	痒		○
Cigaixij	かいがいしい	甲斐甲斐		○
Cidarui	かいだるい			
Cinai	かいない	甲斐		○
Cacafayuy	かかはゆい			
Caxicamaxij	かしかましい	器		○
Caxicoi	かしこい	賢		○
Cximaxij	かしましい	姦		○
Catai	かたい	固・堅		○
Catai	かたい	固・堅・難	AB	
Catacunaxij	かたくなしい	頑		○
Catajiqenai	かたじけない	辱・忝		○
Catajiqenõ	かたじけのう	辱・忝		○
Catafara itai	かたはらいたい	片腹痛	C	○
Cadamaxii	かだましい	姦		○
Cadamaxij	かだましい	姦	AB	○
Cadocadoxij	かどかどしい	角々	A	○
Cadogamaxij	かどがましい	角		
Cadomaxij	かどましい	角	A	
Canacusai	かなくさい	金臭		
Canaxij	かなしい	悲		○
Camabisuxij	かまびすしい	喧		○
Cayû	かゆう	痒		○
Carai	からい	辛		○
Carai	からい	辛	AB	○
Carui	かるい	軽		○
Carui	かるい	軽	AB	○
Carugaruxij	かるがるしい	軽々		○
Caro	かるい	軽		○
Carogaroxij	かるがるしい	軽々		○
Cauaij	かわい			○
Canbaxij	かんばしい	芳		

国際研究論叢

ローマ字見出し	ひらがな	漢字	備考1	備考2
Qiqidouoi	ききどおい	聞遠		
Qiqinicui	ききにくい	聞	C	○
Qiguruxij	きぐるしい	気苦		
Qigotnai	きごつない			
Qigotnō	きごつう			
Qitanai	きたない	穢		○
Qitçui	きつい			
Qibayai	きばやい	気早		
Qbixij	きびしい	厳		○
Qicbui	きぶい			
Qimusai	きむさい	気	A	
Qiyoi	きよい	清		○
Guiōguiōxij	ぎょうぎょうしい	仰々しい		
Qiōtiu	きょうとい			
Gueōraxij	ぎょうらしい			
Guiōraxij	ぎょうらしい			
Qiocumo nai	きよくもない	曲		
Cusai	くさい	臭		○
Cuchiuoxij	くちおしい	口惜		○
Cuchiuoxū	くちおしゅう	口惜		○
Cuchi vosoi	くちおそい	口遅		
Cuchiuomoi	くちおもい	口重		
Cchigamaxij	くちがましい	口		
Cuchiguiyoi	くちぎよい	口清	A	○
Cuchibayai	くちばやい	口早		
Cuchi firoi	くちひろい	口広	C	
Cudoi	くどい			
Cudō	くどう			
Cuboi	くばい	窪		○
Cuyaxij	くやしい	悔		○
Curai	くらい	暗		○
Curazzuyoi	くらづよい	鞍強		
Curuxij	くるしい	苦		○
Curuxij	くるしい	苦	AB	○
Curoi	くろい	黒		○
Cuuaxij	くわしい	委		○
Cuuaxū	くわしゅう	委		○
Qegarauaxij	けがらわしい	穢		○
Qetacai	けたかい	気高		○
Qetamaxii	けたましい			
Qetamaxū	けたましゅう		A	
Qenarij	けなりい			
Qemutai	けむたい	煙		○
Qeyaqei	けやけい		A	○
Qeuaxij	けわしい	峻		○
Qenyomo nai	けんよもない			
Coi	こい	濃		○
Coixij	こいしい	恋		○
Coixiqi	こいしき	恋		○
Coixū	こいしゅう	恋		○
Cōbaxij	こうばしい	香・芳		○
Coguroi	こぐろい	小黑	A	
Cocorovi	こころうい	心憂		○
Cocorovrexij	こころうれしい	心嬉	A	

ローマ字見出し	ひらがな	漢字	備考1	備考2
Cocorououoi	こころおおい	心多		
Cocoroguruxij	こころぐるしい	心苦		○
Cocoronagai	こころながい	心長		○
Cocoronicui	こころにくい	心憎		○
Cocoronicū	こころにくう	心憎		○
Cocorobucui	こころぶかい	心深		○
Cocorobosoi	こころぼそい	心細		○
Cocoromutçucaxij	こころむつかしい	心		
Cocoromotonai	こころもとない	心		○
Cocoromotonō	こころもとのう	心許		○
Cocoroyasui	こころやすい	心安		○
(Cocoroyoi)	(こころよい)	快		○
Cocoroyoqu	こころよく	快		○
Cozacaxij	こざかしい	小賢		
Gozanai	こざない	御座	C	
Cosobai	こそばい			
Cosobaij	こそばいい			
Codacai	こだかい	小高	A	
Codacō	こだこう	小高	A	○
Cotocotoxij	ことことしい	事々		○
Cotoxigueō	ことしぎょう	事繁	A	○
Cotoxiguei	ことしげい	事繁	A	○
Cotosōzōxi	ことそうぞうし	事忝		
Cotonai	ことない			○
Cotonō	ことのを			○
Cotofiroi	ことひろい	事広		
Cotofirō	ことひろう	事広		
(Cotoyuyenai)	(ことゆえない)	事故		
Cotoyuyenō	ことゆえのう	事故		
Cotoyorixij	ことよりしい	事		
Conomaxij	このましい	好		○
Conomaxū	このましゅう	好		○
Cobayai	こばやい	子早		
Cobucui	こぶかい	木深	A	○
Comai	こまい	細		
Comaomaxij	こまごましい	細々		
Couai	こわい	強		○
Sacaxij	さかしい	賢		○
Sagaxij	さがしい	険		○
Ssacui	さくい			
Saxidegamaxij	さしでがましい	差出		
Sadame nai	さだめない	定		○
Sattçuberaxij	さつべらしい			
Sattçuberaxū	さつべらしゅう			
Satoi	さとい	聡		○
Sabixij	さびしい	寂		○
Samui	さむい	寒		○
Sayaqei	さやけい		A	○
Sarai	さらい			
Sarigatai	さがたい	去難・避難	A	○
Sariguenai	さりげない			○
Ssariguenacu	さりげなく			○
Ssariguenō	さりげのう			○
Ssaruguenai	さるげない			○

『邦訳 日葡辞書』の形容詞

ローマ字見出し	ひらがな	漢字	備考1	備考2
Ssaruguenó	さるげのう			○
Sauagaxij	さわがしい			○
Xiuó	しおう	吝	A	
Xiuono carai	しおのからい	塩		○
Xiuofayui	しおはゆい	塩	A	
Xiuoraxij	しおらしい			
Xigatai	しがたい		A	○
Xigató	しがとう	為難	A	○
Xicarubeó	しかるびよう	然		
Xicarubei	しかるべい	然		
Xicarubexij	しかるべしい			
Xigueó	しぎよう	繁		○
Xigui	しげい	繁		○
Xiguecu	しげく	繁		○
Xizzucoronai	しずころない	心		○
Xizzu cocoronaqu	しずころなく	賤心	A	○
Xizzucocoronaó	しずころのう			○
Xizzuno cocoronó	しずのころのう	心	AB	○
Xitaxij	したしい	親		○
Xitaxũ	したしゅう	親		○
Xitarui	したるい			
lichiraxij	じちらしい	実		
Xitçucoi	しつこい			
Xidoqenai	しどけない			○
Xinicui	しにくい	為	C	○
Xibui	しぶい			○
Xibunigai	しぶにがい	渋苦		
Xucqeraxij	しゅっけらしい	出家	A	
Iutnai	じゅつない	術		○
Iógouai	じょうごわい	情強		
Xôgîqiraxij	しょうじきらしい	正直	A	
Xôgîqiraxũ	しょうじきらしゅう	正直		
Xôneraxij	しょうねらしい	性根	A	
Xôneraxũ	しょうねらしゅう	性根	A	
Ióno couai	じょうのこわい	情強		
Xirui	しるい			○
Xiroi	しろい	白		○
Xiroi	しろい	著		○
Xirô	しろう	白		○
Xirô	しろう	著		○
Xiuai	しわい	吝		
Xiuafayui	しわはゆい	鹹		
Xiuaracusai	しわらくさい	臭		
Intôraxij	じんとうらしい			
Sui	すい	酸		○
Suguxij	すぐしい	直	C	
Sugusuguxij	すぐすぐしい	直々	C	
Sucunai	すくない	少		○
Sugenai	すげない			○
Sugoi	すごい	凄		○
Susamaxij	すざましい	凄・冷・寒		○
Susamajij	すざまじい	凄・冷・寒		○
Suzuxij	すずしい	涼		○
Susudoï	すすどい	進疾		○

ローマ字見出し	ひらがな	漢字	備考1	備考2
Zzunai	ずない			
Suneó	すによう	拗	A	
Sunei	すねい	拗	A	
Suboi	すばい	窄	A	
Xecaraxij	せからしい			
Xexecamaxij	せせかましい			
Xetnai	せつない	切	A	
Xetnó	せつのう	切	A	
Xebai	せばい	狭		○
Xeuaxij	せわしい	忙		
Xeuaxinai	せわしない	忙		
Xeuaxeuxaxij	せわせわしい	忙々		
Xeuaxeuxaxij	せわせわしい	忙々	A	
Xencata nai	せんかたない	為方無	C	○
Xennai	せんない		A	○
Sôzôxij	そうぞうしい	忿々		○
(Sônai)	(そうない)			○
Sónacu	そうなく	左右無		○
Sônó	そうのう	左右無		○
Zocugamaxij	ぞくがましい	俗	A	
Zocutadij	ぞくたしい	俗	A	
Zocuraxij	ぞくらしい	俗	A	
Sosocôxij	そそこうしい			
Tayegatai	たえがたい	耐難		○
Tacai	たかい	高		○
Tacumaxij	たくましい	逞		○
Taqei	たけい	猛		○
Tadaxij	ただしい	正		○
Tattoi	たつとい	尊		○
Tadotadoxij	たどたどしい			○
Tadotadoxũ	たどたどしゅう			○
Tanaxij	たのしい	楽		○
Tanomizucunai	たのみずくない	頼少		○
Tanomoxij	たのもしい	頼		○
Tyasui	たやすい	輒		○
Tyorinai	たよりない	便・頼		○
Tyorimo nai	たよりもない	便・頼		○
Darui	だるい		C	
Chijsai	ちいさい	小		○
Chijsó	ちいそう	小		○
Chicai	ちかい	近		○
Chicagicaxij	ちかちかしい	近々		○
Chicagicaxũ	ちかちかしゅう	近々		○
Chôchôxij	ちょうちょうしい			
Chôfôraxij	ちょうほうらしい	調法		
Tçuxixó gamaxij	ついしょうがましい	追従	C	
Tçuqinai	つきない	付無	A	○
Tçutanai	つたない	拙		○
Tçutçumaxij	つつましい	慎	A	○
Tçutçumaxiqu	つつましく	慎	A	○
Tçuboi	つばい	窄		
Tçumaxij	つましい			
Tçumetai	つめたい	冷		○
Tçuyoi	つよい	強		○

国際研究論叢

ローマ字見出し	ひらがな	漢字	備考1	備考2
Tçurai	つらい	辛		○
Tçurenai	つれない	難面		○
Teitacu	ていたく	手痛		○
Teitō	ていとう	手痛		○
Tevosoi	ておそい	手遅	C	
Tevomoi	ておもい	手重	C	
Tegatai	てがたい	手堅		
Tegamaxij	てがましい	手		
Tegarui	てがるい	手軽		
Tecoi	てこい			
Decoi	でこい			
(Tecai)	(てかい)			
Tecō	てこう			
(Decai)	(でかい)			
Decō	でこう			
Tegpiao	てごわい	手強		○
Txebai	てせばい	手狭		
Tegicai	てちかい	手近		
Tegicai	てちかい	手近	A	
Tezzuyoi	てづよい	手強		
Tedouoi	てどおい	手遠		
Tenurui	てぬるい	手緩		
Tnebai	てねばい	手粘	C	
Tebaxicai	てばしかい	手		
Tebatebaxij	てばてばしい			
Tebayai	てばやい	手早		
Tebiroi	てびろい	手広		
Tebirō	てびろう	手広		
Tematai	てまたい	手全		
Temusai	てむさい	手		
Teyouai	てよわい	手弱		
Toi	とい	利	C	○
(Toi)	(とい)	疾		○
Tō	とう	疾		○
Tōtoi	とうとい	尊		○
Touoi	とおい	遠		○
Touodouocxij	とおどおしい	遠々		○
(Tocoroxei)	(ところせい)			○
Tocoroxeqi	ところせき	所狭	A	○
Toxifisaxij	としひさしい	年久		
Tobocaxij	とぼかしい			
Toboxij	とぼしい	乏		
Tomoxij	ともしい	乏	A	○
Tomoxū	ともしゅう	乏	A	○
Nai	ない	無		○
Nauoi	なおい	直	A	○
Nauō	なおう	直	A	○
Nagai	ながい	長		○
Naganagaxij	ながながしい	長々		○
Naguecaxij	なげかしい	歎		○
Nagō	なごう	長		○
Nagorivoxij	なごりおしい	名残惜		○
Nasagenai	なさけない	情無		○
Natçucaxij	なつかしい	懐		○

ローマ字見出し	ひらがな	漢字	備考1	備考2
(Nanigocoronai)	(なにごころない)			○
Nanigocoronaqu	なにごころなく	何心	A	○
Namagusai	なまぐさい	腥		○
Namaxij	なまし	生		○
Namazzuqenai	なまづけない			
Namanamaxij	なまなまし	生々		○
Namanurui	なまぬるい	生温	A	
Namanurū	なまぬるう	生温		
Namamecaxij	なまめかしい		A	○
Namamecaxiqi	なまめかしき		A	○
Namidagatai	なみだがたい	涙固	C	
Namidazzuyoi	なみだづよい	涙強	C	
Namida moroi	なみだもろい	涙脆	C	○
Narigatai	なりがたい	成難		○
Narenarexij	なれなれしい	馴々		○
Nandemo nai	なんでもない	何		
Nandemonō	なんでものう	何		
(Nannai)	(なんない)	難無		○
Nannō	なんのう	難無		○
Nigai	にがい	苦		○
Niganigaxij	にがにがしい	苦々		○
Niguiniguixij	にぎにぎしい	賑々		
Nixui	にくい	憎		○
Nitçucauaxij	につかわしい	似		○
Nibui	にぶい	鈍		○
Nucui	ぬくい	温		
Nurui	ぬるい	温		○
Negauaxij	ねがわしい	願	A	○
Negauaxu	ねがわしゅう	願	A	○
Negoï	ねごい	寝濃		
Netai	ねたい	妬	C	○
Netaqu	ねたく	妬	A	○
Netamaxij	ねたましい	妬	A	○
Netamaxū	ねたましゅう	妬	A	○
Netçui	ねつゐ			
Netçū	ねつう		C	
Nettō	ねつとう			ねたい
Nebai	ねばい	粘		
Nebagatai	ねばがたい	粘固		
Nebutoi	ねぶとい	音太		
Nemui	ねむい	眠		
Nozomaxij	のぞましい	望		
Facanai	はかない	果敢		○
Facabacaxij	はかばかしい			○
Facari nai	はかりない	量無		○
Faguxij	はげしい	烈		○
Baqebaaqexij	ばげばけしい	化化		
Baqeraxij	ばけらしい	化		
Faxicai	はしかい			
Fagigamaxij	はじがましい	恥		○
Fagigauaxij	はじがわしい	恥		
Faxitanai	はしたない			○
Fazzucaxij	はずかしい	恥		○
Fatçuxij	はつしい		A	

『邦訳 日葡辞書』の形容詞

ローマ字見出し	ひらがな	漢字	備考1	備考2
Fanafadaxij	はなはだしい	甚		○
Fanamezuraxij	はなめずらしい	花珍		
Babaxij	ばばしい			
Fabayai	はばやい	刃早		
Fayai	はやい	早		○
Fayabayaxij	はやばやしい	早々		
Fara curoi	はらくろい	腹黒	A	○
Fara curô	はらくろう	腹黒	A	○
Faregamaxij	はれがましい	晴		○
Fiqij	ひきい	低	C	○
Ficui	ひくい	低		○
Fisaxij	ひさしい	久		○
Fidacai	ひだかい	日高		
Fidarui	ひだるい			
Fidoi	ひどい			
Fitogamaxij	ひとがましい	人		
Fitogemonai	ひとげもない	人		○
Fitoxij	ひとしい	等		○
Fitoxigui	ひとしげい	人繁	C	○
Fitobitoxij	ひとびとしい	人々		○
Fitoraxij	ひとらしい	人		
(Fifisaxij)	(ひびさしい)	日久		
Fifisaxiqu	ひびさしく	日久	A	
Bibixij	びびしい	美々		○
Fiai	ひやい	冷		
Fiyai	ひやい	冷		
Firai	ひらい	平		
Firoi	ひろい	広		○
Fucai	ふかい	深		○
Fugainai	ふがいない	臍甲斐		
Fucabucaxij	ふかぶかしい	深々		
Fusuboricusai	ふすぼりくさい	燻臭		
Futoi	ふとい	太		○
Furui	ふるい	古		○
Funbetgamaxij	ふんべつがましい	分別		
Fenmonai	へんもない			
Foinai	ほいない	本意		○
Foxij	ほしい	欲		○
Fosoi	ほそい	細		○
Fosonagai	ほそながい	細長		○
(Fodonai)	(ほどない)			○
Fodonacu	ほどなく	程		○
Fodonô	ほどのう	程		○
Fonogurai	ほのぐらい	仄暗		○
Maguirauaxij	まぎらわしい	紛		○
Macotoxij	まことしい	実		○
Macotoraxij	まことらしい	実		
Masaxij	まさしい	正		○
Majiroi	まじろい	真白		
Majirô	まじろう	真白		
Mazzuxij	まずしい	貧		○
Matai	またい	全		○
Magicai	まちかい	目近		○
Machidouoi	まちどおい	待遠	A	

ローマ字見出し	ひらがな	漢字	備考1	備考2
Mchinagai	まちながい	待長	A	
Mchibisaxij	まちびさしい	待久	A	
Maxxiroi	まっしろい	真白		
Mattai	まったい	全		○
Mattai	まったい	全	A	○
Mattô	まっとう	全		○
Madoxij	まどしい	貧	C	
Magayui	まばゆい	眩		○
Mafoxij	まほしい		C	
Mamexij	まめしい			
Marui	まるい	丸・円		○
Miguruxij	みぐるしい	見苦		○
Mijicai	みじかい	短		○
Midaregauaxij	みだれがわしい	乱		○
Michrenai	みちれない			
Mitomonai	みともない	見		
Minicui	みにくい	醜	C	○
Mimigaximaxij	みみがましい	耳姦		
Mimichicai	みみちかい	耳近		○
Mimigicai	みみちかい	耳近		○
Mimitoi	みみとい	聡		○
Mimidouoi	みみどおい	耳遠		
Mimitoxi	みみとし	聡		○
Mimonai	みもない	実		
Miyasui	みやすい	見易	C	
Mugectuqenai	むげつけない			
Mugectuqenô	むげつけのう			
Musai	むさい			
Musaraxij	むさらしい			
Mutçucaxij	むつかしい			○
Mutçumaxii	むつましい	睦		○
Munaxij	むなしい	空		○
Munaxû	むなしゅう	空		○
Mesamaxij	めざましい	目覚		○
Mezamaxij	めざましい	目覚		○
Mezzuraxij	めずらしい	珍		○
Metataxij	めたたしい	目立	A	
Metataxû	めたたしゅう	目立	A	
Medetai	めでたい	目出		○
(Mocusanmonai)	(もくさんもない)	目算無		
Mocusanmonô	もくさんものう	目算無		
Modaxigatai	もだしがたい	黙難		
Mottainai	もったいない	勿体		
Monovi	ものうい	物憂		○
Monoganaxij	ものがなしい	物悲		○
Monogamaxij	ものがましい	物		
Monocusai	ものくさい			○
Monoguruuaxij	ものぐるわしい	物狂		○
Monosabixij	ものさびしい	物淋		○
Monosauagasij	ものさわがしい	物騒	C	○
Monosugoi	ものすごい	物凄		
Monobucui	ものぶかい	物深		○
Monomonoxij	ものものしい	物々		○
Moroi	もろい	脆		○

国際研究論叢

ローマ字見出し	ひらがな	漢字	備考1	備考2
Morô	もろう	脆	A	○
Morocu	もろく	脆		○
Yacutaimo nai	やくたいもない	益体		
Yagotonai	やごとない			○
Ysaxij	やさしい	優		○
Yasaxû	やさしゅう	優		○
Yasui	やすい	安		○
Yasû	やすう	安		○
Yasû	やすう	安	AB	○
Yamaiyouai	やまいよわい	病弱		
Yayasamuxi	ややさむし	稍寒		
(Yaya fisaxij)	(ややひさしい)	稍久		
Yaya fisaxû	ややひさしゅう	稍久		
Yarucatanai	やるかたない	遣方	A	○
Yaruxemonai	やるせもない	遣瀬	A	
Yuicainai	ゆいかいがない	言甲斐		
Yucaxij	ゆかしい			○
(Yucurinai)	(ゆくりない)			○
Yucurinaqu	ゆくりなく		A	○
Yudangamaxij	ゆだんがましい	油断	A	
Yumegamaxij	ゆめがましい	夢	A	
Yumegamaxû	ゆめがましゅう	夢	A	
Yumeyumexij	ゆめゆめしい	夢々		
Yumeyumexiqu	ゆめゆめしく	夢々		
Yuyuxij	ゆゆしい	由々		○
Yuyuxû	ゆゆしゅう	由々		○
Yurui	ゆるい	緩		○
Yoi	よい	良・善		○

ローマ字見出し	ひらがな	漢字	備考1	備考2
Yô	よう	善	A	○
Youô	よおう	弱	A	
Yoguinaï	よぎない	余儀		
Yozatoi	よざとい	夜聡		
Yoxi	よし		AB	○
Yoxinai	よしない	由		○
Yosogamaxij	よそがましい	余所		
Yosogamaxû	よそがましゅう	余所		
Yosoyosoxij	よそよそしい	余所余所		○
Yodarui	よだるい			
Yoniyô	よによ	世良	AB	
Yobucai	よぶかい	夜深	A	○
Yobucô	よぶこう	夜深	A	○
Yorocobaxij	よろこばしい	喜	A	○
Yorocobaxû	よろこばしゅう	喜	A	○
Yoroxij	よろしい	宜		○
Yoroxiqu	よろしく	宜	A	○
Youai	よわい			○
Ririxij	りりしい	凛々		
Vacai	わかい	若		○
Vaquatamo nai	わくかたもない	分方		
Vazzurauaxij	わずらわしい	煩		○
Vazzurôxij	わずろうしい	煩		○
Vabixij	わびしい	侘		○
Varaberaxij	わらべらしい	童		
Varinai	わりない			○
Varui	わるい	悪		○
Varoi	わるい	悪	A	○

- 注1 従来の方針により、～まほしいは形容詞としては採らない。
 注2 がましい、がわしい、めかしいは接尾辞とみなし、形容詞としては取らない。